

HACHI

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



エコアクション21
認証番号0010386

事業展開にエコアクション21を活用した

環境経営レポート

(対象：2023年4月1日～2024年3月31日)

日本初の国産カレー粉開発技術継承の

八子食品 株式会社

発行日 2024年 9月 11日

改定日 2024年 9月 18日

P. 3	当社の主な取り扱い商品
P. 4	当社がこれまでのEA21取組から得られた成果事例
P. 5	CSR活動
P. 6	2023年度省エネや福祉事業
P. 7	今後のEA21取組への決意とSDGsに向けた貢献
P. 8	環境経営方針
P. 9	エコアクション21実施体制と役割分担表
P. 10~11	1. 組織の概要
P. 12	2. 認証登録の対象範囲・活動
P. 13~18	3. 環境目標及び実績
P. 19	4. 環境活動計画の取組結果とその評価、年度の取組内容
P. 20	5. 環境関連法規等の順守状況の確認・評価の結果並びに食品リサイクルの取組状況
P. 21~22	6. 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無並びに教育の実施状況及び内部監査の記録
P. 23	7. 緊急事態対応の試行・訓練
P. 24	8. 代表者による全体の評価と見直しの結果と指示
P. 25	<環境管理責任者からの編集後記>

当社の主な取り扱い商品

HACHI

パスタソース



スパイス・調味料



その他レトルト



レトルトカレー



ルウ



- <代表的な商品>
- <商品説明>
- <製造工場>
- <製造工程>

「たっぷり・ミートソース285」
 完熟トマトを使い、玉ねぎと挽肉をじっくり煮込んだ
 味わい深いミートソースです

信州駒ヶ根工場

原料受入→原料処理→原料投入→混合煮沸→充填・軽量→X線検査→殺菌→梱包→製品

- ① EA21認証取組で、2013年12月駒ヶ根工場増設の長野県助成金事業に繋がった。
- ② EA21システム導入により、食品安全マネジメントシステムFSSC22000の構築が円滑に進んだ。
- ③ 採用活動において、EA21やFSSC22000の認証企業であるということでアピールできた。
- ④ EA21認証会社という意識の共有により、LED照明化、省力設備導入等、省エネ推進が進んだ。
- ⑤ 神戸物流センターにおける太陽光発電の電力受給は取組前から実施している。
- ⑥ 社会貢献事業の一環として、2015年11月から月一回の清掃活動を行っている。
- ⑦ 社会貢献事業の一環として、社会福祉法人へ製品等を寄付する活動を行っている。
 1. 廃棄コスト・環境負荷の軽減（EA21に貢献）
 2. 生活困窮者支援（社会貢献）
 3. 従業員の士気高揚 等々、効果は大きい。



株式会社三井住友より「SDGs推進融資」が実施されました。

河川敷・公園等の清掃ボランティア

当社は、「行動規範」の一つに“社会貢献”を掲げています。

この社会貢献事業の一環で、当社では各事業所周辺の清掃ボランティア活動を行っています。



社会福祉協議会他へ商品を寄贈

当社は、各拠点ごとに社会福祉協議会やフードバンク、児童施設にレトルト食品や調味料を寄付しております。

ハチ食品株式会社は、社会福祉への貢献のため今後も寄贈活動を推進します。



- ① 2023年 3月 9日～ 信州駒ヶ根工場太陽光発電稼働
環境保護（CO2排出量削減）、工場の遮熱対策、災害時の非常用電源



- ② 2023年10月17日 関東物流センター開所
これにより今まで神戸より運んでいた荷物を在庫できるようになり、配送のためのガソリン排出量などを減らす



- ③ 2023年11月26日 チャイルド・ケア・ハウス協賛（小児癌など難病のお子さんのご家族の滞在施設）
施設の活動支援、CSR活動としてPR効果、企業理念との親和性等
チャリティグッズを身に着けて4kmウォーキング



- ④ 2024年 2月 5日 能登半島地震に係る支援物資の提供
能登半島地震にて被災された方への支援として福祉事業



今後のEA21取組への決意

EA21とFSSC22000の取り組みを通じて、市場ニーズに応える商品開発などの事業活動、外部環境コミュニケーション含むCSRを重視した活動を継続していきます。

SDGs 達成に向けた貢献

■目標12 つくる責任■

2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食糧の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

■目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに■

2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

■目標6 安全な水とトイレを世界中に■

2030年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の維持可能な採取および供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。

■目標3 すべての人に健康と福祉を■

2030年までに、非感染症疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

当社は、「食を通じて社会に貢献する。」の企業理念に基づき、環境と事業活動の関係をよく認識しつつ、環境改善に自主的・積極的に取り組み、環境負荷の継続的な削減に努力していきます。

1. 当社は、次の環境課題に取り組みます。
 - (1) 電力・重油・ガス等の消費による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 車両運行に伴う燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
 - (3) 廃棄物の減量、再生利用の推進及び食品リサイクル率の維持向上
 - (4) 水使用量の節減
 - (5) 化学物質の適正管理
 - (6) その他環境に配慮した事業活動の推進

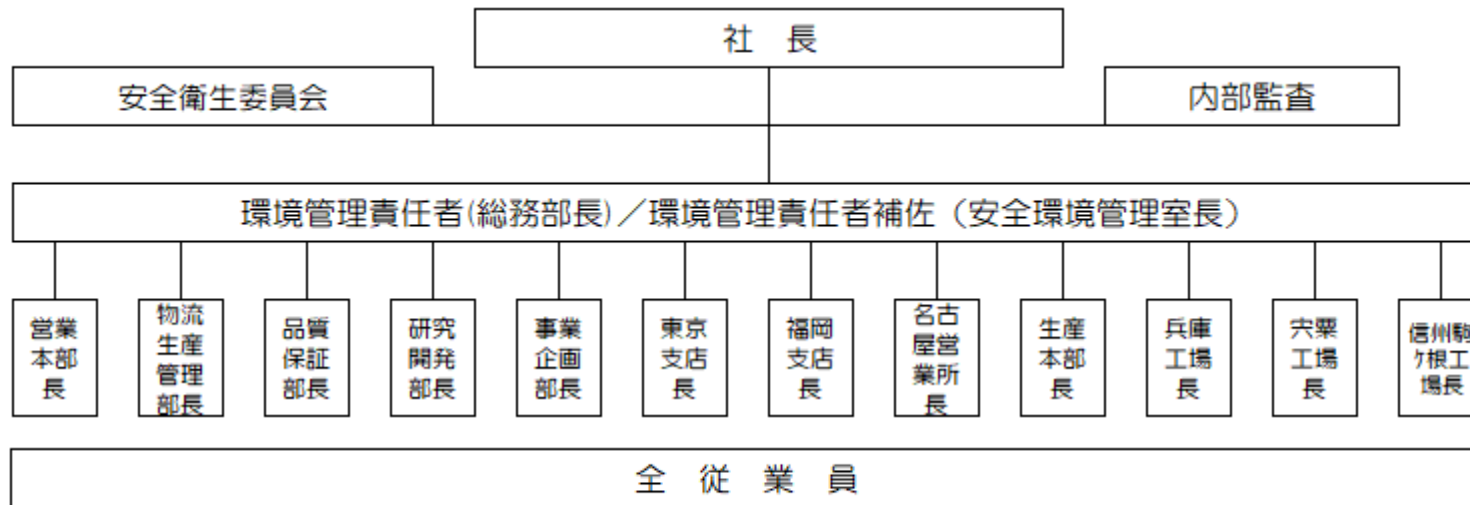
これらについて、経営に関する課題とチャンスを踏まえ、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規則や、環境への取り決め事項を遵守します。
3. 本方針を全従業員に周知徹底します。

2013年 11月 1日 制定
2018年 11月 7日 改訂
2020年 11月 25日 改訂

ハチ食品株式会社
代表取締役社長 高橋慎一

エコアクション21実施体制と役割分担表



- 安全衛生委員会は、原則毎月開催。
- 従業員への示達は上記担当社員から徹底。

責任者	役割
社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針を策定する。 ・ エコアクション21の実行に必要な資源(人・物・金)を用意する。 ・ エコアクション21の全体的な取組状況を評価し、見直し、必要な指示を行う。
環境管理責任者 (総務部長) 環境管理責任者補佐 (安全環境管理室長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムを構築し、維持する。 ・ 環境経営システムの構築運用状況を社長に報告する。 ・ 環境活動レポートを取りまとめる。 ・ 環境管理委員会を開催する。
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコアクション21の実施状況の確認や、省エネ法への対応状況の報告及び環境活動レポート、廃棄物レポートの報告等を行う。 ・ 全体的な見直しのために必要なデータを集計する。
推進委員 (各部門長)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門の環境教育を推進し、環境経営を指導する。 ・ 自部門の環境活動計画の具体的な取組内容を実践し推進する。
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針を理解し、環境配慮行動でものづくりに取り組む。
内部監査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的にEA21の適切な運用状況、環境経営への認識や改善を監査する。

1. 組織の概要

(1) <事業所名>

社名 八子食品 株式会社
代表取締役 高橋 慎一

(2) <所在地>

本社 大阪府大阪市御幣島2丁目18番31号
東京支店 東京都中央区蛸殻町1丁目29番地4号 日本橋蛸殻町東急ビル3階
福岡支店 福岡県福岡市博多区豊1丁目4番25号
名古屋営業所 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目18番1号 三晃丸の内ビル3階
兵庫工場 兵庫県宍粟市山崎町高下1557番地
宍粟工場 兵庫県宍粟市山崎町中野1320番地
信州駒ヶ根工場 長野県駒ヶ根市下平292番27号
神戸物流センター 兵庫県神戸市中央区湊島南町3丁目6番7号(運営は委託)

※関東物流センターは借家、別会社(神戸物流センター運営会社)となります。



本社



神戸物流センター



信州駒ヶ根工場
(レトルト製品専用工場)



兵庫工場
(各種香辛料・カレー粉・カレールー等製造工場)



宍粟工場

1. 組織の概要

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者	杉本 郁	(常務取締役総務部長)
環境管理責任者補佐	黒沢 和範	(安全環境管理室 室長)
担当者	有村 奈緒子	(安全環境管理室 課長代理)
連絡先	電話 06-6471-3557	Fax 06-6475-7262

(4) 事業内容 各種カレー製品、各種レトルト食品、各種調味料等の製造販売

(5) 事業の規模

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)	11,920	12,475	13,079	13,300	13,784	14,606

2024.3.31時点

	本社	東京支店	福岡支店	名古屋営業所	兵庫工場	穴栗工場	信州駒ヶ根工場	神戸物流センター	合計
従業員数(人)	65	16	6	2	68	68	120	(0)	345
延床面積(m ²)	1,232.58	257.62	152.07	59.96	5,834.07	3,239.00	7,956.36	3,081.32	21,812.96

(6) 事業年度 (対象：2023年4月1日～2024年3月31日)

2. 認証登録の対象範囲・活動

- (1) 登録組織名 : ハチ食品株式会社
- 関連事業所 : 本社、東京支店、福岡支店、名古屋営業所
神戸物流センター、信州駒ヶ根工場、兵庫工場、穴粟工場
- 対象事業活動 : カレー製品全般、各種レトルト食品、各種香辛・調味料の
製造販売

(2) レポートの対象期間及び発行日

- ① 対象期間 (対象：2023年4月1日～2024年3月31日)
- ② 発行日 2024年 9月 11日

3. 環境目標及び実績

3. 生産重量

単位：kg

	2021年度	2022年度	2023年度
信州駒ヶ根工場	12,567,499	13,875,090	14,071,245
兵庫工場	5,629,235	5,210,450	4,937,200
穴栗工場	4,473,903	4,767,103	4,229,027

3-A 環境目標及び実績（製造部門）

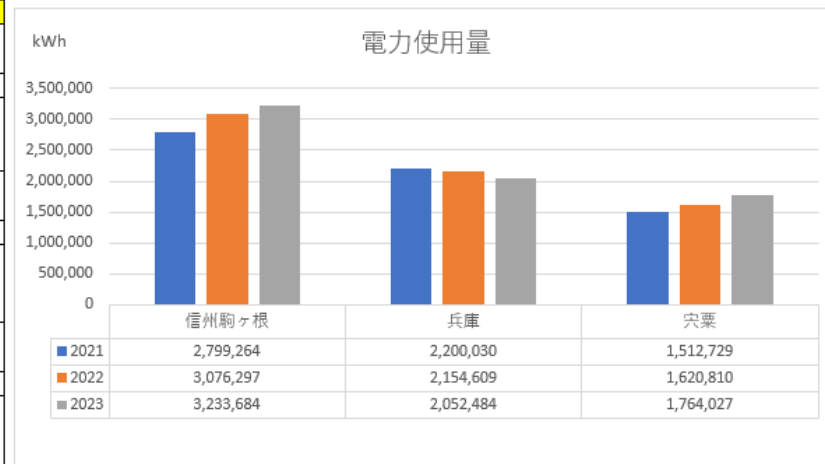
電力

単位：生産効率kg/kWh（生産重量/使用電力）

電力生産効率の改善 (kg/kWh)	基準年度 (2019 年度)	2023年度		目標達成	2024年度	2025年度	
		①目標	②実績		目標	目標	
信州駒ヶ根 工場	生産重量/ 使用電力	4.61	4.75	4.35	×	4.79	4.84
	比率(%)	100%	103.0%	94.4%		104.0%	105.0%
目標未達成。工場では積極的な設備投資を行っています。生産能力のアップ、生産効率の向上を目指した投資ではありますが、人手不足に対応するためのものでもあるので原単位の改善は難しい面があります。							
兵庫工場	生産重量/ 使用電力	2.93	3.02	2.41	×	3.05	3.08
	比率(%)	100%	103.0%	82.3%		104.0%	105.0%
目標未達成。工場では積極的な設備投資を行っています。生産能力のアップ、生産効率の向上を目指した投資ではありますが、人手不足に対応するためのものでもあるので原単位の改善は難しい面があります。							
穴栗工場	生産重量/ 使用電力	2.52	2.60	2.40	×	2.62	2.65
	比率(%)	100%	103.0%	95.2%		104.0%	105.0%
目標未達成。工場では積極的な設備投資を行っています。生産能力のアップ、生産効率の向上を目指した投資ではありますが、人手不足に対応するためのものでもあるので原単位の改善は難しい面があります。							

*目標達成基準・・・○「達成」△「数字上未達成もやむをえない要因あり」×「未達成」
*購入量排出係数 信州駒ヶ根工場・兵庫工場・穴栗工場(全て関西電力実績2018年0.334)

【対策】
省エネお助け隊等の省エネ診断を予定しています。

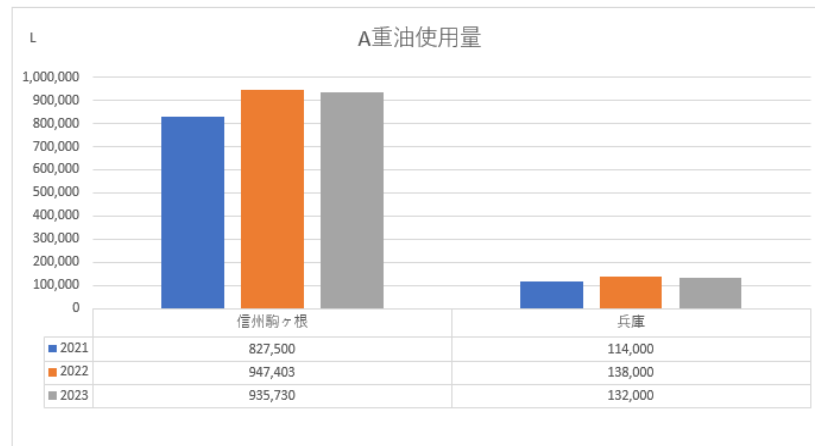


3. 環境目標及び実績

A重油

単位：生産効率kg/L（生産重量/使用量）

A重油生産効率の改善 (kg/L)		基準年度 (2019年度)	2023年度		目標達成	2024年度	2025年度
			①目標	②実績		目標	目標
信州駒ヶ根工場	生産重量/使用量	15.49	15.95	15.04	×	16.11	16.26
	比率(%)	100%	103.0%	97.1%		104.0%	105.0%
	目標未達成。生産品目の多品種小ロット傾向により設備の切替作業時間が増えた分、稼働時間がかかったため生産効率が悪化した。						
兵庫工場	生産重量/使用量	45.32	46.68	37.40	×	47.13	47.59
	比率(%)	100%	103.0%	82.5%		104.0%	105.0%
	目標未達成。穴粟工場へ製造移管を行い生産量減もボイラー稼働時間は横ばいなため生産効率悪化。老朽化のためエネルギーロスも多いと思われる。						

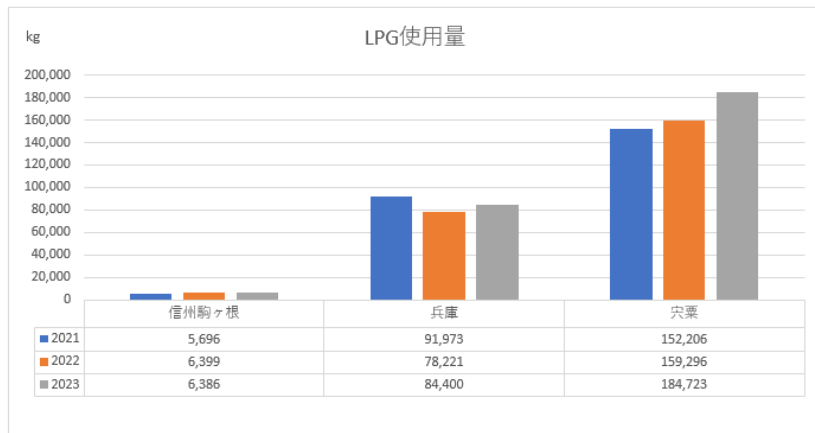


LPG

単位：生産効率kg/kg（生産重量/使用量）

LPG生産効率の改善 (kg/kg)		基準年度 (2019年度)	2023年度		目標達成	2024年度	2025年度
			①目標	②実績		目標	目標
信州駒ヶ根工場	生産重量/使用量	1,316.57	1,356.07	2,203.33	○	1,369.23	1,382.40
	比率(%)	100%	103.0%	167.4%		104.0%	105.0%
	目標達成。						
兵庫工場	生産重量/使用量	66.85	68.86	58.50	×	69.52	70.19
	比率(%)	100%	103.0%	87.5%		104.0%	105.0%
	生産量減の影響と思われる。						
穴粟工場	生産重量/使用量	30.97	31.90	24.76	×	32.21	32.52
	比率(%)	100%	103.0%	79.9%		104.0%	105.0%
	生産量減の影響と思われる。						

【対策】
省エネお助け隊等の省エネ診断を予定しています。



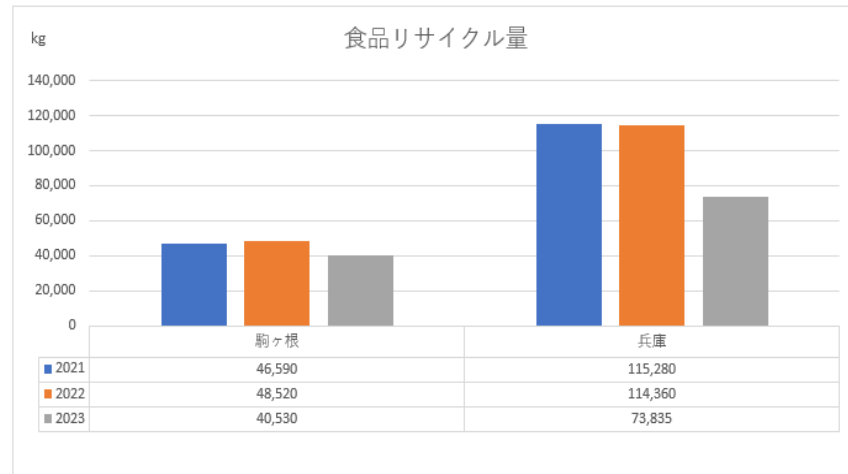
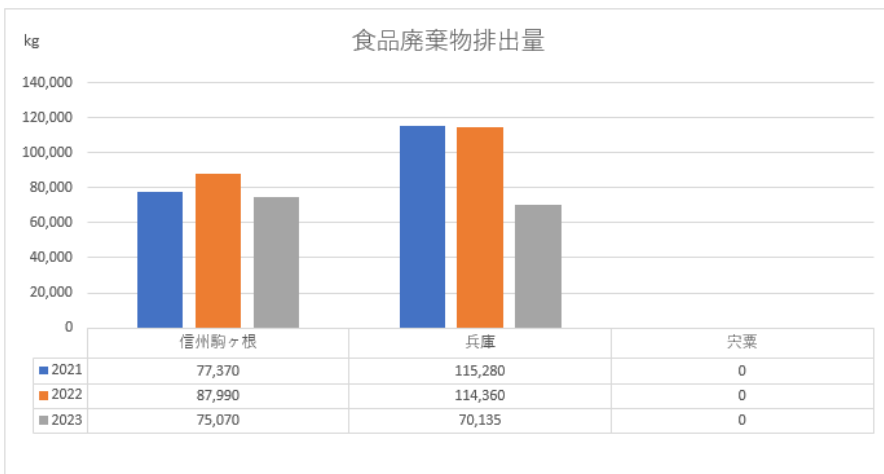
3. 環境目標及び実績

食品廃棄物

単位：リサイクル率 %

食品リサイクル法の遵守		基準年度 (2019年度)	2023年度		目標達成	2024年度	2025年度
			(1)目標	(2)実績		目標	目標
信州駒ヶ根工場	リサイクル率	60.20%	61.40%	54%	×	62.01%	62.61%
	比率(%)	100%	102.0%	89.7%		103.0%	104.0%
パウチ包装と中身の分別が進まないため、生産量が増えるほどリサイクル率は悪化してまいります。							
兵庫工場	リサイクル率	95.00%	95.00%	95%	○	95.00%	95.00%
	比率(%)	100%	維持	100%		維持	維持
目標達成。							
穴栗工場	リサイクル率	95.00%	95.00%	95%	○	95.00%	95.00%
	比率(%)	100%	維持	100%		維持	維持
目標達成。							

【対策】
 兵庫県の技術専門家による新しいリサイクル技術の模索を予定しています。
 ⇒社会福祉協議会以外の供給先＋飼料化システム

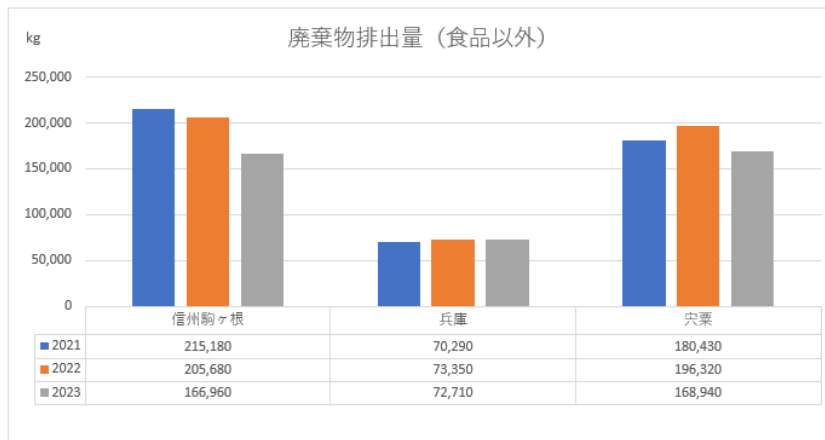


3. 環境目標及び実績

廃棄物（食品以外）

単位：生産効率 t / t（生産重量/廃棄量）

廃棄物の削減	基準年度 (2019年度)	2023年度		目標達成 度②/①	2024年度	2025年度	
		①目標	②実績		目標	目標	
信州駒ヶ根工場	生産重量/ 廃棄量	50.39	51.40	84.28	○	51.90	52.41
	比率(%)	100%	102.0%	167.3%		103.0%	104.0%
目標達成。							
兵庫工場	生産重量/ 廃棄量	79.26	80.85	67.90	×	81.64	82.43
	比率(%)	100%	102.0%	85.7%		103.0%	104.0%
昨年度は発生の無かった汚泥の処理を行ったため。							
穴栗工場	生産重量/ 廃棄量	23.95	24.43	25.03	○	24.67	24.91
	比率(%)	100%	102.0%	104.5%		103.0%	104.0%
目標達成。							



水資源

単位：生産効率kg/L（生産重量/使用量）

水資源生産効率の改善 (kg/kWh)	基準年度 (2019年度)	2023年度		目標達成 度②/①	2024年度	2025年度	
		①目標	②実績		目標	目標	
信州駒ヶ根工場	生産重量/ 水使用量	74.16	75.64	75.81	○	76.38	77.13
	比率(%)	100%	102.0%	102.2%		103.0%	104.0%
目標未達成。							
兵庫工場	生産重量/ 水使用量	325.04	331.54	248.26	×	334.79	338.04
	比率(%)	100%	102.0%	76.4%		103.0%	104.0%
目標未達成。							
穴栗工場	生産重量/ 水使用量	282.61	288.26	240.35	×	291.09	293.91
	比率(%)	100%	102.0%	85.0%		103.0%	104.0%
目標未達成。							

【対策】
 水資源の改善に寄与する活性水装置の導入検討中です。
 ⇒洗浄力強化＋周辺排水環境浄化＋水の性質向上による品質改善

3. 環境目標及び実績

3.-B 環境目標及び実績（販売管理部門）

単位：絶対数量

項目		基準年度 (2019 年度)	2023年度		目標達成 度②/①	2024年度	2025年度
			①目標	②実績		目標	目標
電力使用量	使用電力 (千kWh)	172.15	168.71	183.80	×	166.99	165.26
	比率(%)	100%	98.0%	106.8%		97.0%	96.0%
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 空調設定温度順守 省エネ機器への切替 消灯の徹底 		目標未達成。人員増に伴い増か			
産業廃棄物の削減(食品)	食品リサイクル率	95%	95%	95%	○	95%	95%
	比率(%)	100%	100.0%	100.0%		維持	維持
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会等への寄贈推進 		目標達成			
一般廃棄物排出量削減	排出量(t)	31.94	31.30	7.83	○	30.98	30.66
	比率(%)	100%	98.0%	24.5%		97.0%	96.0%
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 使用済紙・用紙の再利用 A・B・Cの推進 賞味期限切れ商品廃棄削減 		目標達成			
水資源(千kWh)	使用量(L)	950.00	931.00	1,017.00	×	921.50	912.00
	比率(%)	100%	98.0%	107.1%		97.0%	96.0%
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 出しっ放し厳禁(節水張り紙) 		目標未達成。人員増に伴い増か			
自動車燃料の削減	使用量(L)	36,722	35,988	23,172	○	35,620	35,253
	比率(%)	100%	98.0%	63.1%		97.0%	96.0%
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 乗車月報の継続(燃料意識強化) ハイブリットへ入れ替え 		社有自動車を削減し、カーシェアリングを活用			

3. 環境目標及び実績

3-C 環境目標及び実績（その他）

化学物質の適正な管理

単位：使用量 kg

項目	使用量 (kg)	取組内容
信州駒ヶ根工場	212.16	入在庫管理記録の記入、SDSの表示等、適正な管理が行われている。
兵庫工場	-	入在庫管理記録の記入、SDSの表示等、適正な管理が行われている。
穴栗工場	6.16	入在庫管理記録の記入、SDSの表示等、適正な管理が行われている。

省エネ法の取組状況（エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量）

単位：t-CO2

目標と実績	単位	実績				目標	
		2021年度	2022年度	2023年度	前年度増減	2024年度	2025年度
事業者全体	t-CO2	5,716	5,932	5,905	-27	5846	5787
信州駒ヶ根工場	t-CO2	3,245	3,550	3,428	-122	3394	3359
兵庫工場	t-CO2	1,357	1,278	1,249	-29	1237	1224
穴栗工場	t-CO2	988	981	1,103	122	1092	1081
販売管理部門(注)	t-CO2	126	123	125	2	124	123

(参考)2019年度神戸物流センターの太陽光発電の販売による二酸化炭素削減実績=2 t-CO2 ※当社の削減量には加算していない

4. 環境活動計画の取組結果とその評価、年度の取組内容

目標項目	取組計画	達成状況	目標達成状況を含む「活動計画取組結果」の評価・今後の取組内容
電力削減 (生産部門)	①I社キ-0の改善 ②デマソト監視装置の導入 ③空調設定温度順守、消灯の徹底 ④生産設備の省エネ	×	職場環境（人員の増加）、空調導入して電気代がかさむ。年々夏の気温上昇が激しく電気代に負荷がかかる。 新規製品は高付加価値の製品にシフトしたことによって1製品あたりの電気使用量は増えている。生産重量から計算していた目標を製品売上金額に今後は目標設定を見直し予定。
機械燃料 (A重油・LPG) (生産部門)	①生産設備の省エネ ②I社キ-0の改善	×	生產品目の多品種小ロット傾向により設備の切替作業時間が増えた分、稼働時間がかかったため生産効率が悪化しました。温水タンクにカバーを取り付ける放熱対策の実施をしましたが、2024年2月設置のため2024年度に減少予定。
産業廃棄物の削減 (生産部門)	①製品不良の改善 ②賞味期限切れ原料廃棄削減 ③余剰汚泥の発生削減	○	2022年度に比べ改善が見えています。 2024年度は全工場目標達成を目指していきます。
水使用量削減 (生産部門)	①出しっ放し厳禁（節水張り紙） ②設備の洗浄の効果化	×	穴粟工場原因一切替作業が多かったため洗浄での水使用が増えた <u>※洗浄効果のある水を調査研究中です</u>
化学物質の適正管理 (生産部門)	①使用時の記録の保管 ②化学物質不使用の洗浄剤の使用を増やす	○	記録の保管は全工場実施。
販売管理部門	①電力削減 ②自動車燃料削減	○	販売部門では各事業所で増員があったのでそれに伴い電力量などが増えたのではないかと思います。自動車燃料に関しては社有車が減となりカーシェアリングを実施するようになりました。

5. 環境関連法規等の順守状況の確認・評価の結果並びに食品リサイクルの取組状況

(1) 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果

主な適用法規等	該当する活動	順守状況評価
省エネ法（第二種I社等-管理指定事業者）	使用量調査・報告等	○
容器包装リサイクル法	取扱量等報告・委託料金等納付	○
労働安全衛生法	安全衛生委員会の設置・定期開催	○
廃棄物処理法	廃棄物の処理抑制・分別排出と適正保管等	○
食品リサイクル法	発生量調査・循環等	○
食品衛生法	FSSC22000認証取得	○
下水道法	使用開始届・下水道使用料納入	○
消防法	危険物貯蔵設置許可届出	○
大気汚染防止法	特定施設届出・測定及び記録保管	○
水質汚濁防止法	特定施設届出・測定及び記録保管	○
フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検及び記録保管	○

(2) 食品リサイクルの取組状況

目標と実績	単位	2021年度	2022年度	2023年度	前年度差	取組状況
法定目標値	%	86.2	86.2	86.2	-	信州駒ヶ根工場では歩留まり改善と、社会福祉法人等への寄付を推進することで廃棄量が減少。リサイクル率も前年から改善し、法定目標値（基準実施率）の86.2%以上を達成した。 今後も、更にレトルト食品を廃棄する際の再利用方法について検討中。
1.発生量	t	1952	2035	1489	▲ 54.6	
2.再生利用量	t	46.59	48.52	40.53	▲ 8.0	
3.減量量	t	0.0	0.0	0.0	0.0	
4.熟回収量	t	117.84	115.59	73.83	▲ 41.8	
5.発生抑制量	t	187.1	184	282	98.0	
6.廃棄物としての処分量(6=1-2-3-4-5)	t	57.5	-156.3	-247.5	▲ 91.1	
再生利用等の実施率	%	83.5%	90.4%	91.1%	1%	

6. 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無並びに教育の実施状況及び内部監査の記録

(3) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はなかった。なお、関係当局より違反等の指摘はここ10年以上なし。法規の順守状況をチェックし、問題はなし。

(4) 今年度のエコアクション21教育の実施状況及び内部監査の記録

教育訓練名	実施日	実施場所	内容	参加者	講師等
緊急事態訓練（消防訓練）	2024年5月10日	本社ビル2F事務所	①自衛消防組織の編成②消火器の使用法の徹底③火元・消火器設置場所・非常口の確認	本社全員（約50名）	総務部長（環境事務局長責任者）
緊急事態訓練（消防訓練）	2023年12月末	兵庫工場食堂	防火訓練、地震訓練、防虫教育	勤務者全員	工場長・事務・品管
緊急事態訓練（消防訓練）	2023年12月末	宍粟工場	防火訓練、地震訓練、防虫教育	勤務者全員	工場長
緊急事態訓練（消防訓練）	2023年12月末	駒ヶ根工場食堂	防火訓練、地震訓練、防虫教育	勤務者全員	工場長
新入社員教育	都度	各工場	食品工場内を常に清潔に保つためのルールを教育している（製造現場内、倉庫内、工場内スリッパ使用ルール、トイレ使用ルール、休憩所使用ルール等）。	新入社員	工場長及び教育担当者
従業員教育（兵庫工場）	毎日	各工場	朝礼時に3Sについて行った事、気づいた事、今後の改善点等の周知、報告を行っている。	勤務者全員	工場長
従業員教育（宍粟工場）	毎週月曜日	各工場	朝礼時に3Sについて行った事、気づいた事、今後の改善点等の周知、報告を行っている。	勤務者全員	工場長
従業員教育（信州駒ヶ根工場）	月初 朝・夕	工場エリア	朝礼時に3Sについて行った事、気づいた事、今後の改善点等の周知、報告を行っている。	勤務者全員	工場長及び教育担当者
従業員教育（信州駒ヶ根工場）	毎月	各部署	食品工場における一般衛生管理、労働安全等に関する教育（e-ラーニング）	勤務者全員	部署長および教育担当者

6. 環境関連法規等の違反・訴訟等の有無並びに教育の実施状況及び内部監査の記録

<内部監査記録>

内部監査報告書																													
作成日	2024年9月12日	承認	作成																										
被監査部門	駒ヶ根工場	杉本	黒沢																										
監査部門責任者	小澤工場長																												
監査日	2024年9月11日																												
1. 監査目的	EA21環境経営システムの運用、文書・記録の維持等の監査																												
2. 監査の基準	エコアクション21ガイドライン 2017年度版 食品関連事業者向けガイドライン																												
3. 監査結果の概要	<p>2023年3月から太陽光発電の設備を屋根上に設置し、稼働している。電気使用量の一部を太陽光発電で得た電気で付替。また、2024年2月から省エネルギー対策として殺菌機の扉に断熱材を巻いた。このことにより、殺菌機からの発熱を妨ぎ、エアコンの電気代の削減に貢献。</p> <p>廃棄物置き場は適切に清掃され管理されている。</p> <p>教育訓練について、朝礼で連絡事項や事故発生時再発防止教育は記録表を作成しており各従業員の名前も記されている。FSSC22000の要求事項でもあるのでしっかりと実施されていることを確認した。</p>																												
4. 不適合内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>条項</th> <th>要求事項</th> <th>不適合内容</th> <th>修正の要否</th> <th>ランク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																				
条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																									

内部監査報告書																													
作成日	2024年9月13日	承認	作成																										
被監査部門	兵庫工場	杉本	黒沢																										
監査部門責任者	和田工場長																												
監査日	2024年9月12日																												
1. 監査目的	EA21環境経営システムの運用、文書・記録の維持等の監査																												
2. 監査の基準	エコアクション21ガイドライン 2017年度版 食品関連事業者向けガイドライン																												
3. 監査結果の概要	<p>ボイラーや貯水槽等ユーティリティ設備年間保守は計画通り行われていることを確認した。</p> <p>廃棄物置き場は適切に清掃され管理されている。</p> <p>教育訓練について、連絡事項や事故発生時再発防止教育は記録表を作成されているを確認した。停電が発生した際には、緊急事態発生手順に基づいて行動されたことを確認した。</p> <p>電力削減の手続き通りに運用されていることを確認した。</p>																												
4. 不適合内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>条項</th> <th>要求事項</th> <th>不適合内容</th> <th>修正の要否</th> <th>ランク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																				
条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																									

内部監査報告書																													
作成日	2024年9月13日	承認	作成																										
被監査部門	栄東工場	杉本	黒沢																										
監査部門責任者	戸井工場長																												
監査日	2024年9月12日																												
1. 監査目的	EA21環境経営システムの運用、文書・記録の維持等の監査																												
2. 監査の基準	エコアクション21ガイドライン 2017年度版 食品関連事業者向けガイドライン																												
3. 監査結果の概要	<p>ボイラーや貯水槽等ユーティリティ設備年間保守は計画通り行われていることを確認した。</p> <p>廃棄物置き場は適切に清掃され管理されている。</p> <p>教育訓練について、連絡事項や事故発生時再発防止教育は記録表を作成されているを確認した。停電が発生した際には、緊急事態発生手順に基づいて行動されたことを確認した。</p> <p>電力削減の手続き通りに運用されていることを確認した。</p>																												
4. 不適合内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>条項</th> <th>要求事項</th> <th>不適合内容</th> <th>修正の要否</th> <th>ランク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																				
条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																									

内部監査報告書																													
作成日	2024年9月18日	承認	作成																										
被監査部門	販売部門(本社)	杉本	黒沢																										
監査部門責任者	高橋社長																												
監査日	2024年9月17日																												
1. 監査目的	EA21環境経営システムの運用、文書・記録の維持等の監査																												
2. 監査の基準	エコアクション21ガイドライン 2017年度版 食品関連事業者向けガイドライン																												
3. 監査結果の概要	<p>教育訓練について、火災発生時の訓練が行われていることを確認した。新入社員研修として各部門で教育が行われていることを確認した。</p> <p>電力削減の手続き通りに運用されていることを確認した。</p> <p>社会貢献活動の清掃活動が実施されていることを確認した。</p> <p>廃棄物の分別が正しく行われていることを確認した。</p>																												
4. 不適合内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>条項</th> <th>要求事項</th> <th>不適合内容</th> <th>修正の要否</th> <th>ランク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>				条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																				
条項	要求事項	不適合内容	修正の要否	ランク																									

7.緊急事態対応の試行・訓練

<消防訓練風景>

■本社■



■穴栗工場■



■信州駒ヶ根工場■



■兵庫工場■



8. 代表者による全体の評価と見直しの結果と指示

(1) これまでのEA21取組評価（成果）

EA21の運用後、年々売上高は向上し事業実績も伸長している。

新卒採用や中途採用といったリクルート面でもEA21認証取得企業ということで求人者にアピールができています。

また、工場では定期的に地元学校の子供たちを招き工場見学を行ったり、地域のマラソン大会に協賛するなど、地域コミュニティとのかかわりを大切にする活動を行っている。

(2) 環境経営方針は見直さず、このままで継続する。経営方針 変更なし 変更あり

(3) 環境経営目標及び環境経営計画における今後の取組における改善、変更等

当社は2014年からエコアクション21の取組を初めて9年継続することができた。

その間、新工場の建設や増築等を行い生産量の確保、生産性の向上を目指すと共に、環境負荷の改善や社会貢献活動に取り組んできた。

2023年3月には太陽光パネルの設置、2024年2月には温水タンクにカバーを取り付けなど信州駒ヶ根工場で実施した。今後も環境活動をSDGs経営に活かす方法を模索していくこと。 環境経営目標・計画 変更なし 変更あり

(4) 実施体制

2023年4月に新設した安全環境管理室を中心に取組を継続していくこと。

環境実施体制 変更なし 変更あり

以上

昨年から、安全環境管理室長でもある黒沢和範が、環境管理責任者を拝命し、社内の安全と環境の見えない各種リスクに対応する役割・責任を引受けた初年度の環境経営レポートの発行になりました。

これまでも事業が継続的に成長し続けてきたEA21の一年間を振り返り、次年度の継続的改善に繋げる重要な文書が出来上がりました。

食品安全、労働安全をベースにした、環境経営方針の全事業員の共通認識で、環境経営活動のアウトプットとして、「環境の成果」が達成され、更なる成果を生み出していくことを実感しました。

1 昨年の労働災害件数は7件に対して、本年度は3件以下の目標に対し、前期で1件と順調に推移し、環境目標も概ね達成はしているものの、カーボンニュートラルに直結する電力使用量の目標が未達成となっています。

未達成を問題点と認識し、原因分析して①温暖化の影響著しく、空調の増強が進む一方、「防災カレー」や「るるぶカレー」など②機能性追求の製品開発における目標の決め方が原因であり、PDCAの目標設定の方法を製品重量/電力使用量から、製品販売金額/電力使用量に改善することにしました。

これにより、原材料の軽量化で資源削減、物流費削減のプラス活動が環境目標を下げてきた原因の除去や空調機に使用されている循環水や洗浄水の活性化技術による省エネ対策等、従来の気付きがなかったACTIONに取り組むヒントが見えてきました。

正に、次年度の継続的改善に繋がるSDGs実現のためのEA21を全社共通のツールとして全社・全員の認識を高める内部監査を活用した運用をしていきます。